

市民ギャラリーご利用団体の方へのお願い

令和3年12月1日適用

市民ギャラリーのご利用にあたっては、体調に変調がある場合の利用見合わせ、来館前の検温、マスク着用などの感染予防のほか、下記の事項にご留意ください。

(1) 手指等の消毒

- ・入場時は、手指消毒液でのアルコール消毒や石鹸での手洗いの徹底をお願いします。
- ・手を触れる場所を中心に、適宜消毒剤で消毒してください。（消毒剤有り）
- ・パンフレット等は手渡しせず据え置き方式としてください。

(2) 換気

- ・展示室の入り口は、常時開放してください。
- ・入口以外の扉もできるだけ開放し、ロープの仕切りをご利用ください。

(3) 密集、密接の防止

- ・搬入及び搬出時に密集・密接とならないよう、時間に余裕を持ち、作業時間を分けて交代制にするなどの工夫をお願いします。
- ・作品の展示間隔をできる限り大きくとるとともに、特定の展示作品の前に大勢の人が滞留しないようレイアウトを工夫してください。
- ・ワークショップを行う際は、道具の共用は避け、使用後は消毒してください。
- ・ギャラリートーク等を行う際は、十分な対人距離を確保できる人数で行ってください。
- ・直接手で触れることができる展示物（ハンズオン）は感染リスクが高いため展示しないことを原則とし、止むを得ない場合は会場担当者が管理して消毒を徹底してください。
- ・展覧会の実施に際し、レセプション等を行う際は、マスクを外しての会話はお控えください。
- ・受付窓口に行列ができる場合は、間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないように工夫してください。（床用サイン有り）
- ・会場内が混雑した場合は入場制限をするようにお願いします。

(4) 参加者の体調の把握

- ・団体の代表の方は、当日の参加者を把握するとともに、全員が体調チェックを確実にを行い、体調の悪い方には参加を取り止めてもらうようにしてください。
- ・施設内で体調を崩し感染が疑われる方が発生した場合は事務室に至急ご連絡ください。（内線8020）